

主任者 コーナー

平成27年度放射線安全取扱部会年次大会 (第56回放射線管理研修会)のお知らせ(2)

平成27年度放射線安全取扱部会年次大会実行委員会

平成27年度放射線安全取扱部会年次大会は中部支部が担当します。中部支部ではこれまで名古屋市で年次大会を行ってきましたが、今回初めて北陸の金沢市で開催することにして準備を進めています。北陸新幹線が開通し、皆様にとって金沢市が大変身近に感じられるようになったことと思います。是非、年次大会に参加くださるようお願いいたします。以下に概要についてお知らせします。

年次大会概要

- 開催日：平成27年11月26日(木)、27日(金)
○会場：金沢市文化ホール
金沢市高岡町15番1号
(JR金沢駅よりバスで約15分)

交流会

11月26日(木)の夕方に金沢市文化ホールの向かいにある金沢ニューグランドホテルで開催します。多くの方の参加をお待ちしております。

今年度より事前参加登録を開始いたします。受付開始時期等詳細はホームページ(<http://www.jrias.or.jp>)でご確認ください。

	事前登録	当日登録
年次大会参加費	6,000円	7,000円
交流会参加費	5,000円	6,000円

プログラム概要

今回の金沢大会では、3つの特別講演と3つのシンポジウムを予定しております。現在のところ、一般公開の特別講演として、前金沢市長の山出保先生にお願いし、「歴史と文化のまちづくり」という演題でお話ししていただくことが決まりました。山出先生は1990～2010年まで5期20年にわたり金沢市長を務められ、その間に金沢21世紀美術館を作り、金沢JAZZ STREETを開催し、茶屋街の養成事業を助成し、料理職人塾、工芸工房を開設し、旧町名を復活させるなど、金沢の歴史・文化に基づく町づくりに力を注がれてこられました。歴史ある文化の薫り高い観光都市としての金沢市の礎を作られた方であり、興味深い有意義な話が伺えるものと考えております。その他、原子力規制委員会の放射線安全管理行政の動向や小動物 *in vivo* イメージングについての特別講演も予定しております。

ポスター発表募集

様々な放射線取扱施設で、放射線安全管理等の実務を担当されている方の情報交換の場として、今回もポスター発表を募集します。テーマは大きく分けて以下の4つとなっています。1) 放射線取扱施設での施設維持管理・運用・リスク、2) 教育訓練・啓発活動、3) 分科会・委員会・支部報告、4) 震災・地域貢献・環境放射能。しかし、それ以外のテーマで応募されても構いません。できるだけ多く演題を募集してお

主任者 コーナー

ります。多くの方の参加を期待しております。

なお、お申込みは日本アイソトープ協会のホームページ (<http://www.jrias.or.jp>) 「平成 27 年度年放射線安全取扱部会年次大会（第 56 回放射線管理研修会）のお知らせ」の「ポスター発表募集」からお願いします。お申込みいただいた内容（表題，発表（責任）者）は「ポスター発表一覧」として 10 月号に掲載する予定です。

○発表申込期限：8 月 7 日（金）

○要旨提出期限：9 月 25 日（金）

【連絡先】

○放射線安全取扱部会事務局

日本アイソトープ協会学術・出版課

☎113-8941 東京都文京区本駒込 2-28-45

☎03-5395-8081 FAX 03-5395-8053

E-mail gakujutsu@jrias.or.jp

【金沢市へのアクセスと宿泊に関して】

金沢市へのアクセスには飛行機や新幹線が利用できます。飛行機の場合，羽田，札幌，福岡，仙台，那覇の各空港から小松空港までの便があります。小松空港から金沢市内までは高速バスで 1 時間ほど掛かります。特に，関東方面から来られる方は，是非，北陸新幹線をご利用ください。東京-金沢間は最短で 2 時間 28 分です。関西方面の方は JR 西日本・北陸本線のサンダーバードをご利用ください。大阪-金沢間は最速で 2 時間 33 分です。金沢市は日本でも上位の観光都市であり，ホテルなどの宿泊施設もたくさんあります。ただ，北陸新幹線が開通してからは，土，日曜日は大変混み合っています。年次大会後にそのまま観光も考えておられる方は，早めに予約をした方が良いかと思います。

日本アイソトープ協会図書 新刊のお知らせ

語りあうための ICRP 111 new —ふるさとの暮らしと放射線防護—

定価 1,200 円＋税 会員割引価格 1,080 円＋税

ICRP 111 は，チェルノブイリ事故からの復興の道を被災地でともに歩んだ経験から生まれた放射線防護の専門書です。本書ではこの 111 を福島第一原発事故の視点から解説し，事故後の全体像をとらえ，復興を進める手がかりを探っています。放射線の基礎知識が社会のなかでどのように実践に結びついていくかを知りたい方のための，解説書です。ふるさとの暮らしを取り戻すための放射線防護を考えるすべての人に！

＜四六判・約 240 頁 2015 年 3 月発行＞

ご購入は JRIA BOOK SHOP にて → <http://www.bookpark.ne.jp/jria>